

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 1 の 11

1 化学品及び会社情報

製品識別名

VITA VM CC LIQUID

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

実験試薬として使用

安全データシート作成者の詳細

会社名称:	VITA Zahnfabrik H.Rauter GmbH & Co.KG	
郵便私書箱:	1338 79704 Bad Säckingen	
電話番号:	+49(0)7761-562-0	F A X 番号: +49(0)7761-562-299
電子メール:	info@vita-zahnfabrik.com	
インターネット:	www.vita-zahnfabrik.com	

警察署・消防署への非常通話番号: +49-(0)761-19240

詳しい情報

medical device

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

EC 規制 No. 1272/2008

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激 2

呼吸器感作性または皮膚感作性: 皮膚感作性 1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 3

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気。

皮膚刺激。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器への刺激のおそれ。

ラベル要素

EC 規制 No. 1272/2008

ラベルに表示されなければならない有害成分

methyl methacrylate

ethylene dimethacrylate

2-(2H-benzotriazol-2-yl)-p-cresol

注意喚起語: 危険

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 2 の 11

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。

危険の予防

P210	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

他の危険有害性

情報は何もない。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
80-62-6	methyl methacrylate Flam. Liq. 2, Skin Irrit. 2, Skin Sens. 1, STOT SE 3; H225 H315 H317 H335	75 - < 80 %
97-90-5	ethylene dimethacrylate Skin Sens. 1, STOT SE 3; H317 H335	15 - < 20 %
99-97-8	N,N-dimethyl-p-toluidine Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, STOT RE 2, Aquatic Chronic 3; H331 H311 H301 H373 H412	1 - < 5 %
131-57-7	2-Hydroxy-4-methoxy benzophenone Aquatic Acute 1, Aquatic Chronic 2; H400 H411	< 1 %
2440-22-4	2-(2H-benzotriazol-2-yl)-p-cresol Skin Sens. 1, Aquatic Chronic 4; H317 H413	< 1 %
868-77-9	2-hydroxyethyl methacrylate Skin Irrit. 2, Eye Irrit. 2, Skin Sens. 1; H315 H319 H317	< 1 %
80-62-6	methyl methacrylate; methyl 2-methylprop-2-enoate; methyl 2-methylpropenoate Flam. Liq. 2, Skin Irrit. 2, Skin Sens. 1, STOT SE 3; H225 H315 H317 H335	< 1 %

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

4 応急措置

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 3 の 11

必要な応急手当の記述**吸い込んだ後に**

新鮮な空気を入れること。疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。

皮膚に付着した後に

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。医師の処置を必要とする。皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。

目に付着した後に

眼に触れたときは、瞼を開けた状態で、長時間、眼を水で洗浄し、直ちに眼科医の診察を受けること。

葛下後

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

情報は何もない。

緊急治療および特別処置が必要な兆候

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

消火剤**適切な消火剤**

二酸化炭素 (CO₂)、泡、消火用散剤。

使ってはならない消火剤

水。

物質または混合物特有の危険有害性

燃えやすい。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。全身防護服。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

すべての発火源を除去すること。十分に換気をすること。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。

環境に対する予防措置

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。火災の場合に爆発する危険性あり。

封じ込めおよび浄化方法と機材

液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 4 の 11

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

安全取扱い注意事項

包装していない製品を取り扱う際は、局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。ガス/煙/蒸気/エーロゾルを吸い込まないこと。

火災および爆発防護に関するアドバイス

発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。静電気対策を講じること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

配合禁忌等、安全な保管条件

倉庫と容器の需要

容器は、密閉した状態を保つこと、鍵をかけて保管すること、資格者のみが立ち入ることのできる場所に貯蔵すること。高濃度の箇所では、十分な換気と局所排気を行うこと。容器は、涼しく換気のよい場所で保管すること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。

共同貯蔵に関する注意事項

(以下のもの)と一緒に貯蔵してはならない: 酸化剤。自然発火性又は自己発熱性物質。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

物質の許容濃度 (日本産業衛生学会)

CAS番号	物質名	ppm	mg/m ³	繊維/ml	範囲	起源
80-62-6	メタクリル酸メチル; Methyl methacrylate	2	8.3		許容濃度	

曝露防止



適切な工学的制御

包装していない製品を取り扱う際は、局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。ガス/煙/蒸気/エーロゾルを吸い込まないこと。

保護・衛生対策

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！
休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

眼/顔面用の保護具

保護眼鏡/保護面を着用すること。保護めがね/顔面保護具を着用すること。

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 5 の 11

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。推奨される手袋製品 KCL Camatril, Butoject 破過時間（最大着用時間） NBR (ニトリルゴム) 10 min ブチルゴム 60 min

皮膚の保護

適切な保護衣を着用すること。

呼吸器の保護

高濃度の箇所では、十分な換気と局所排気を行うこと。

9 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

物質の状態:	液体の
色:	無色
臭い:	特異臭
pH値:	確定されていない

状態の変化

融点:	確定されていない
沸点, 初留点及び沸騰範囲:	93 °C
引火点:	<12 °C

引火性

固体:	非該当
ガス:	非該当

爆発特性

その製品は、(で) ない: 爆発の危険がある。

爆発下限:	2,1 体積%
爆発上限:	12,5 体積%
発火点:	430 °C

自然発火温度

固体:	非該当
ガス:	非該当
分解温度:	確定されていない

酸化特性

燃焼を促進しない。

蒸気圧: (で 50 °C)	<=1100 hPa
蒸気圧: (で 50 °C)	64 hPa
密度:	確定されていない

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 6 の 11

水溶性: いいえ

溶媒に対する溶解性

確定されていない

水分配係数: 確定されていない

蒸気密度: 確定されていない

蒸発速度: 確定されていない

その他の情報

固形分濃度: 0,0 %

10 安定性及び反応性**反応性**

燃えやすい。

化学的安定性

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

危険有害反応性の可能性

知られた有害反応はない。

避けるべき条件

熱源から遠ざけておくこと（例えば、高温の表面、火花、開放火炎）。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

不適合物質

情報は何もない。

危険有害性のある分解生成物

既に知られた有害分解製品はない。

11 有害性情報**毒性情報****急性毒性**

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 7 の 11

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
80-62-6	methyl methacrylate				
	皮膚の	LD50(50%致死量) > 5000 mg/kg			
97-90-5	ethylene dimethacrylate				
	皮膚の	LD50(50%致死量) 3300 mg/kg			
99-97-8	N,N-dimethyl-p-toluidine				
	経口の	急性毒性の推定 100 mg/kg			
	皮膚の	急性毒性の推定 300 mg/kg			
	吸い込んで 蒸気	急性毒性の推定 3 mg/l			
	吸い込んで エアロゾ ル	急性毒性の推定 0,5 mg/l			
2440-22-4	2-(2H-benzotriazol-2-yl)-p-cresol				
	皮膚の	LD50(50%致死量) >2000 mg/kg	Ratte	Hersteller	
868-77-9	2-hydroxyethyl methacrylate				
	経口の	LD50(50%致死量) 5050 mg/kg	ネズミ		
80-62-6	methyl methacrylate; methyl 2-methylprop-2-enoate; methyl 2-methylpropenoate				
	皮膚の	LD50(50%致死量) >5000 mg/kg			

刺激性及び腐食性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。(methyl methacrylate; ethylene dimethacrylate; 2-(2H-benzotriazol-2-yl)-p-cresol; 2-hydroxyethyl methacrylate; methyl methacrylate; methyl 2-methylprop-2-enoate; methyl 2-methylpropenoate)

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 8 の 11

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性（単回暴露）

呼吸器への刺激のおそれ。(methyl methacrylate; ethylene dimethacrylate)

特定標的臓器毒性（反復暴露）

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

吸引力呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

テストに関するその他のインフォメーション

この混合物はEC指令No 1272/2008 [CLP]において、危険性を有すると評価される。

12 環境影響情報

毒性

その製品は、（で）ない: 生態毒性。

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
868-77-9	2-hydroxyethyl methacrylate					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 227 mg/l	96 h	Pimephales promelas		

残留性と分解性

その製品は、検査されなかった。

生物蓄積性

その製品は、検査されなかった。

n-オクタノール/水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
868-77-9	2-hydroxyethyl methacrylate	0,47

土壌中の移動度

その製品は、検査されなかった。

他の有害影響

情報は何もない。

詳しい情報

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。地下/土壌に至らせてはならない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法**廃棄の勧告**

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。地下/土壌に至らせてはならない。廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

汚染した包装

汚れておらず、中身の残っていない包装容器は、再生利用に引き渡すことができる。汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID


加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027


ページ 9 の 11

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

UN番号:	UN 1247
正式の国連輸送名:	METHYL METHACRYLATE MONOMER, STABILIZED
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	3
	
特別な設備:	386
量制限:	1 L
微量:	E2
EmS:	F-E, S-D

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号:	UN 1247
正式の国連輸送名:	METHYL METHACRYLATE MONOMER, STABILIZED
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	3
	
特別な設備:	A209
量制限-乗客:	1 L
Passenger LQ:	Y341
微量:	E2
IATA梱包方指示-乗客:	353
IATA最大数量-乗客:	5 L
IATA梱包指示 (貨物機) :	364
IATA最大数量 (貨物機) :	60 L

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

使用者のための特別な予防措置

警告: 可燃性液体.

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 10 の 11

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内規定情報

従業制限:	若年層への従業制限に注意する。
水に与える有害性等級（ドイツ）:	2 - 水を汚染する
皮膚吸収/感作:	アレルギー性過敏反応を起こします。

16 その他の情報

略称と頭字語の説明

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
(European Agreement concerning the International Carriage off Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code ffor Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

GHS: Globally Harmonized System off Classiffcation and Labelling off Chemicals

EINECS: European Inventory off Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List off Notiffed Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service

LC50: Lethal concentration, 50%

LD50: Lethal dose, 50%

CLP: Classiffcation, labelling and Packaging

REACH: Registratiion, Evaluation and Authorizatiion off Chemicals

GHS: Globally Harmonised System off Classiffcatiion, Labelling and Packaging off Chemicals

UN: United Nations

DNEL: Derived No Effect Level

DMEL: Derived Minimal Effect Level

PNEC: Predicted No Effect Concentration

ATE: Acute toxicity estimate

LL50: Lethal loading, 50%

EL50: Effect loading, 50%

EC50: Effective Concentration 50%

ErC50: Effective Concentration 50%, growth rate

NOEC: No Observed Effect Concentration

BCF: Bio-concentration ffactor

PBT: persistent, bioaccumulative, toxic

vPvB: very persistent, very bioaccumulative

RID: Regulations concerning the international carriage off dangerous goods by rail

ADN: European Agreement concerning the International Carriage off Dangerous Goods by Inland Waterways (Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies de navigation intérieures)

EmS: Emergency Schedules

MFAG: Medical First Aid Guide

ICAO: International Civil Aviation Organization

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る

VITA VM CC LIQUID

加工された日付: 30.07.2019

製品コード: 027

ページ 11 の 11

MARPOL: International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships

IBC: Intermediate Bulk Container

SVHC: Substance of Very High Concern

略語および頭字語については、<http://abbrev.esdscom.eu> の表を参照

GHSによる混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Flam. Liq. 2; H225	試験データを基にした
Skin Irrit. 2; H315	算出方法
Skin Sens. 1; H317	算出方法
STOT SE 3; H335	算出方法

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H301	飲み込むと有毒。
H311	皮膚に接触すると有毒。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319	強い眼刺激。
H331	吸入すると有毒。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H373	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。
H413	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。